

科 目 名	電子情報工学応用実験 Applied Experiments on Electronics and Computer Science			担当教員	柿元 健, 本田道隆, 鹿間共一, 重田和弘, 辻正敏, 漆原史朗, 太良尾浩生, 村上 幸一, 離元洋一, 中山仁史					
学 年	5	学 期	前期	科目番号	08318	単位数				
分 野	専門	授業形式	実験	履修条件	必修得 (コース必修)					
学習目標	<p>目標区分 (B-4) : 分析・応用力－実験を計画的に遂行し得られた知見を説明できる。</p> <p>(C-2) : 課題設定能力－的確な問題提起を行い計画的に実行できる。</p> <p>(C-3) : デザイン能力－チームワーク力, 分析力等の下に問題解決ができる。</p> <p>(D-1) : 論理的表現能力－学理に基づいて論理的な記述・表現ができる。</p> <p>実験テーマに対してチームの一員として積極的に取り組み, 実験計画に基づいて遂行できる実行力を養う。また, 実験原理や理論の理解を深める手段として, 文献講読や互いの知識や情報を駆使した協議を行い, 自らのコミュニケーション能力を高める。さらに, レポート作成を通じて, 理論に基づいたデータ分析や考察を行うことができる分析能力を育む。</p>									
進 め 方	<p>選択したコース (電気電子コース・情報通信コース) に応じて, 各コース別に用意された実験テーマに取り組む。3~4名でチームを構成し, チーム単位で実験を行う。各テーマの担当教員と技術員のアドバイスの下で, 実験テキストに従って, 学生が主体的に行う。実験終了後に, 実験方法, 結果, 考察をまとめた報告書を作成し, 指定された期日までに提出する。適宜, 筆記試験・実技試験を実施する。</p>									
学習内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習項目 (時間数)</th><th>合格判定水準</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 以下のコースのいずれかを選択して実施する。 1. 電気電子コース(48) (1) カーブトレーサによる半導体素子の静特性の測定 (2) 負帰還増幅回路, 定電圧回路, 発振・変調回路 (3) L C を含む交流回路に関する実験 (4) インバータによる誘導電動機の制御 2. 情報通信コース(48) (1) 光ファイバ実験 (2) デジタル信号の伝送に関する安定性確保の実験 (3) データ通信インターフェース実験 (4) ネットワーク特性の測定と設計 3. 電気電子・情報通信コース共通(42) (1) 実技試験 (2) H8 マイコンによる実験 </td><td> a. 指導書とチームでの調査により実験内容や結果について説明できる。(B-4) b. 工学基礎, 専門基礎に基づいた分析ができる。(B-4) c. 実験装置が構成でき, 適切な操作ができる。(B-4) d. グループ討議に積極的に参加できる。(C-2) e. 情報を収集し, 課題に向けて利用できる。(C-2) f. 指導書に従って課題解決策の提案ができる。(C-2) g. 与えられた役割に従って, 計画的に取り組むことができる。(C-3) h. 問題解決手順を説明できる。(C-3) i. 解決に至る過程を論理的に正しく記述できる。(D-1) j. 実験結果を科学的に整理記述できる。(D-1) </td></tr> </tbody> </table>						学習項目 (時間数)	合格判定水準	以下のコースのいずれかを選択して実施する。 1. 電気電子コース(48) (1) カーブトレーサによる半導体素子の静特性の測定 (2) 負帰還増幅回路, 定電圧回路, 発振・変調回路 (3) L C を含む交流回路に関する実験 (4) インバータによる誘導電動機の制御 2. 情報通信コース(48) (1) 光ファイバ実験 (2) デジタル信号の伝送に関する安定性確保の実験 (3) データ通信インターフェース実験 (4) ネットワーク特性の測定と設計 3. 電気電子・情報通信コース共通(42) (1) 実技試験 (2) H8 マイコンによる実験	a. 指導書とチームでの調査により実験内容や結果について説明できる。(B-4) b. 工学基礎, 専門基礎に基づいた分析ができる。(B-4) c. 実験装置が構成でき, 適切な操作ができる。(B-4) d. グループ討議に積極的に参加できる。(C-2) e. 情報を収集し, 課題に向けて利用できる。(C-2) f. 指導書に従って課題解決策の提案ができる。(C-2) g. 与えられた役割に従って, 計画的に取り組むことができる。(C-3) h. 問題解決手順を説明できる。(C-3) i. 解決に至る過程を論理的に正しく記述できる。(D-1) j. 実験結果を科学的に整理記述できる。(D-1)
学習項目 (時間数)	合格判定水準									
以下のコースのいずれかを選択して実施する。 1. 電気電子コース(48) (1) カーブトレーサによる半導体素子の静特性の測定 (2) 負帰還増幅回路, 定電圧回路, 発振・変調回路 (3) L C を含む交流回路に関する実験 (4) インバータによる誘導電動機の制御 2. 情報通信コース(48) (1) 光ファイバ実験 (2) デジタル信号の伝送に関する安定性確保の実験 (3) データ通信インターフェース実験 (4) ネットワーク特性の測定と設計 3. 電気電子・情報通信コース共通(42) (1) 実技試験 (2) H8 マイコンによる実験	a. 指導書とチームでの調査により実験内容や結果について説明できる。(B-4) b. 工学基礎, 専門基礎に基づいた分析ができる。(B-4) c. 実験装置が構成でき, 適切な操作ができる。(B-4) d. グループ討議に積極的に参加できる。(C-2) e. 情報を収集し, 課題に向けて利用できる。(C-2) f. 指導書に従って課題解決策の提案ができる。(C-2) g. 与えられた役割に従って, 計画的に取り組むことができる。(C-3) h. 問題解決手順を説明できる。(C-3) i. 解決に至る過程を論理的に正しく記述できる。(D-1) j. 実験結果を科学的に整理記述できる。(D-1)									
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 実験実習での機器の取り扱いや実習状況, レポート内容 (計画・実施報告書を含む), 実技試験により各テーマに応じて評価する。 レポート, 計画・実施報告書は, 以下の観点で評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ①期限内に提出されている。 ②指定された様式に従って作成されている。 ③図, 表の完成度 ④記述内容が正確である。 ⑤記述内容が論理的である。 学習目標に対する評価の割合は, 目標(B-4)にかかる評価 (a, b, c.) を 30%, 目標(C-2)にかかる評価 (d, e) を 30%, 目標(C-3)にかかる評価 (g, h) を 20%, 目標(D-1)にかかる評価 (i, j) を 20%とする。 									
関連科目	電子情報工学実験Ⅱ (4年) → [電子情報工学応用実験] (5年) → (実験実習Ⅰ・Ⅱ) (専攻科1年)									
教 材	テーマ毎に実験テキストを配布する。									
備 考	この科目は指定科目です。この科目の単位修得が進級要件となりますので, 必ず修得して下さい。また, この科目は, 本年度内に単位追認試験が実施できません。									